

男性育児休業取得者 座談会

Produced by

おしえて！先輩

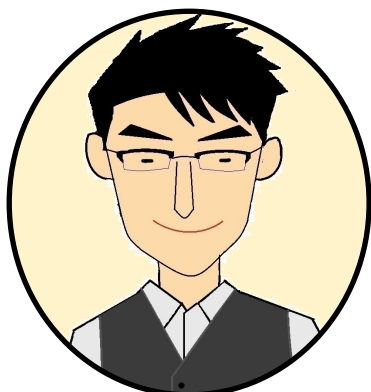
昨今、男性の育児休業（育休）取得が増え、検察庁でも多くの男性職員が育休等を取得しています。今回は、育休等を取得した検察庁の3人の男性職員からお話を伺ってみました！



★ 座談会メンバー ★

N 検察事務官（総務課）

最近第一子が誕生！
2か月の育休を取得し、
職場復帰しました。



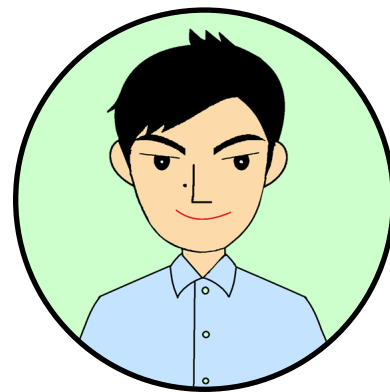
I 検察事務官（人事課）

フレックス等の様々な制度を
活用し、3人の子どもの育児
に励んでいます！



K 検察事務官（会計課）

3年前に育休を取得。
最近第二子が生まれたので、
近々育休取得予定！



育休等を取得した経緯

～色んな形で、自分たちにあった育児を～

- N** 今年1人目の子どもが生まれたので、妻の出産直後から2か月間、育休を取得しました。
妻が里帰り出産をしないことが分かっていたので、ある程度まとまった期間をとりたいな
と思い、妻の体調がある程度回復するまでの期間等を色々検討した結果、2か月間、取得す
ることにしました。
- K** 私は、1人目の子どもが生まれたときに育休を取得したのですが、妻が里帰り出産だった
ので、妻が自宅に戻ってきた後、1か月間の育休を取得しました。
育休自体は1か月という短い期間でしたが、1人目が生まれた時期は新型コロナウイルス
感染症が流行していて、育休明けで職場復帰した後も、出勤調整でテレワーク等の勤務が増
えており、出退勤の時間がない分、子どもが小さいときにたくさん一緒に過ごせたんじゃな
いかなと思います。
最近2人目が生まれたので、もうしばらくしたら1人目のときと同じように1か月間の育
休を取得する予定です！
ただ、2人目になってくると、収入面や生活面のこと等、1人目のときよりも、考えるこ
とはより多くなってきますよね。
- I** 何人目のときに、こういった制度をどのように利用するのかって色々考えますよね。
私は、色んな事情を考慮して、2人目と3人目のときは育休を取得せず、子の出生に伴う
特別休暇7日（配偶者出産休暇2日、育児参加のための休暇5日）と年次休暇12～13日
を併せて、1か月間の休暇を取得しました。
年次休暇を使用することにはなりますが、制度を組み合わせることで、1か月程
度であれば、給料を減らすことなく、育休と同じ期間育児に参加することができるんです！

～子の出生に伴う特別休暇～

配偶者出産休暇

- 【目的】 妻の出産に係る入院や出産時の付添い
入院中の世話、出産の届出等のため
- 【期間】 妻の出産に係る入院等の日から出産の
日後2週間を経過するまでの間
- 【日数】 2日

育児参加のための休暇

- 【対象】 妻の出産に係る子又は小学校未就学の
始期に達するまでの子を養育する職員
- 【目的】 生まれた子への授乳、付添い
上の子の保育所等への送迎のため
- 【期間】 妻の出産予定日の6週間（多胎妊娠の場
合は14週間）前日から出産の日以後
1年間を経過するまでの間
- 【日数】 5日

育休を取得することを職場に伝えると・・・？

～上司や周りのあったかい一言で気持ちが軽くなる～

N 育休を取得すると、周りの方の業務負担が増えることもあり、言い出しているのかな、と
思ってしまうところはあったのですが、今の部署の上司から、「できるだけ長期間休みな
よ！」と先に声かけしていただいたことで、何だか気持ちが軽くなりました。

自分が安心して休めるように率先して職場がサポート体制を整えてくれたことで、スムー
ズに育休を取得することができたと思います。

K 私が育休を取得したときも、自分の部署や職場の雰囲気として、「育休は絶対取得しよう」
だったり、「周りもサポートするよ」みたいな、育休を取得しやすい雰囲気や環境が整って
いたので、育休を取得しやすかったように思います。

I 取得する側も、自分が抜けた後のサポートのことや、勤務体制のことは考えないといけな
いので、自分がどうするか決めて、早めに余裕を持って育休の予定を上司等に伝えることも
大事ですよ。

育休を取得してみても

～我が子の成長を間近で見て、実感する～

N 出産直後のしんどそうな妻を見て、もし自分が育休を取得せずに、妻を自宅で1人にさせ
ていたらと考えるとぞっとしました。

少しでも妻の負担を減らせたらと思い、母乳をあげる以外の全部の育児や家事をしている
と、あっという間に1日が過ぎていきました。

しんどいこともたくさんですが、最初から、毎日しっかり子どもと接していたためか、子
どもとの愛着形成がちゃんとできているなと感じることがあり、生まれてすぐ育児に参加し
てよかったです！

きっと後々にも良い影響になるんじゃないかなと思っています。

K 子どもの成長を身近で感じることは、育休を取得したからこそですよ。

私は、育休取得当初、妻と一緒に夜中も頑張って起きていたのですが、そうすると、日中
に2人ともしんどくなって上手く生活が回らなくなってしまうので、妻と相談の上、途中
から、夜中の担当は妻、日中の家事全般の担当は私という生活に変えました。

そこから、いいサイクルで生活できるようになった記憶があります。

最近2人目が生まれて、もう少ししたら育休を取得する予定なので、今度も同じような分
担でやってみようと思っています。

妻に育児を任せきりにするのではなく、自分も主体的にできるよう心がけています！

I 男性の育休取得でよく言われる「休めてラッキー」とか「しばらく仕事から離れて自由に
できるぞ」というイメージは、実際に育休を取得すると軽いくつがえりますよね（笑）

仕事に行っていた方が楽だと思うくらい、育児をしていると本当に1日があっという間
で、1日終わるとヘトヘトになります。

それでも、妻のために、少しでも力になれるよう頑張る気持ちが大事なんですよ。

育休から復帰してみて

～仕事と家庭、バランス良く生活するには～

N 最近、育休明けで職場復帰したのですが、職場の方々が温かく迎えてくれたので、スムーズに復帰することができました。

負担をかけたはずの部下は、子どもの出生を純粹に喜んでくれましたし、上司は今後の育児等についても気にかけてくれて、本当にありがたいなと思いました。

今後、周りの方が育休を取得する際、自分も同じようにできたらいいなと思いました。

K 私が育休を取得したときは、上司が直近で育休を取得しており、部署として周りの人がサポートをする体制が整っていたということもあって、問題なく復帰できたと思います。

職場復帰した翌年度から子どもを保育園に入れたのですが、保育時間や育児短時間、休憩短縮、子の看護休暇等を活用し、妻と子どもの送迎や家事を分担しながら生活していました。

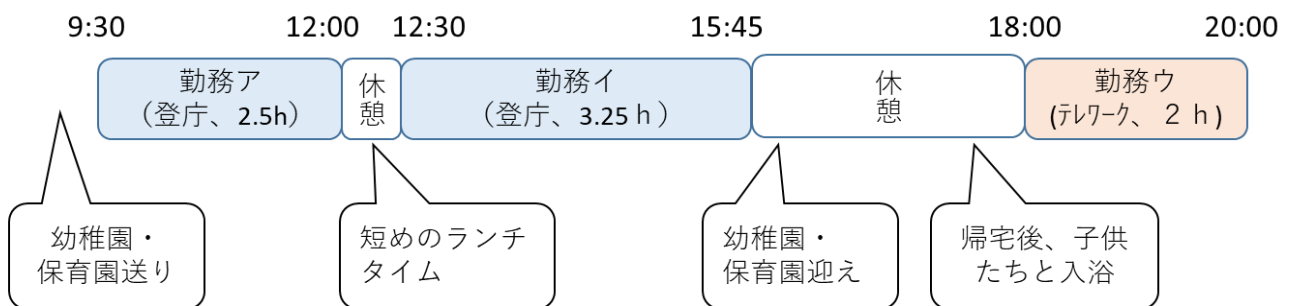
I 復帰した後も、勤務時間の調整や保育園の送迎等、大変なことはたくさんですよ。

今は色んな制度ができていて、育休も連続取得に限らず、時期を分散させて取得できたり、自分たちの生活に合わせた育児や勤務時間のやりくりがかなり自由にできるので、ぜひ様々な制度を活用してほしいですね。

私は、3人目の子どもが生まれた後の長期休暇明けに、上の2人の子どもの幼稚園と保育園の送迎をするためフレックスタイムを活用し、テレワーク、休憩短縮と併せて勤務時間を調整していました。

最初は上手くいか不安でしたが、やってみると意外とスムーズに仕事をする事ができたので、やってよかったなと思いました。

～ I 検察事務官のとある日の1日～



N これから子どもが1歳を迎えるにあたり、保育園選びから始まり、勤務時間をどうするか等、妻と一緒に色々と考えていかないといけないので、とても参考になります！

I 育児環境は人によって様々なので、自分にあった生活を模索し、それらに見合う様々な制度を活用して、子育てをしていけたら一番いいですね！

皆さん、たくさんの経験談をありがとうございました！
実際に育休を取得される方の話を聞くと少しイメージが湧きませんか？
ぜひ参考にしてみてくださいね！